

## 「令和2年度版大田区の環境調査報告書」の発行について

### 1 発行の目的

昭和40年代より継続的に区内の大気汚染の状況及び公共用水域の水質の調査・監視を行い、区内の環境の推移を把握している。

また、航空機・自動車・鉄道等の交通機関に起因する騒音振動対策や東京湾の富栄養化対策として、各種調査を実施し、国や都及び各事業者に対して改善対策について要望や情報提供を行っている。

本報告書は、令和2年度に調査した区内の環境のまとめと経年の推移を見るとともに、区の環境改善の取り組みをまとめることを目的として報告書を発行し、広く公開している。

### 2 報告書の概要

騒音・振動、大気汚染、水質汚濁の3章の構成でまとめている。

#### (1) 騒音・振動

航空機騒音調査（固定測定局による常時監視及び内陸飛行調査）

自動車騒音振動調査（主要幹線道路）

鉄道騒音振動調査（京浜急行電鉄㈱ 京浜急行空港線、  
東京急行電鉄㈱ 東横線、大井町線）

#### (2) 大気汚染

区内9か所にある測定局での大気汚染常時監視

光化学スモッグ注意報の発令状況

大気中のアスベスト濃度調査

#### (3) 水質汚濁

水質定期調査（公共用水域（河川・海域）の水質・底質の調査）

呑川汚濁実態調査

水質異常事故対応

### 3 報告書の配布及び公表

#### (1) 配布

国や東京都、調査対象事業者などの関係機関に配布

#### (2) 公表

大田区ホームページでの公開

区役所内区政情報コーナーや区内図書館に配置